

2020年8月3日

各 位

テイカ株式会社

圧電単結晶材料製造設備の新設および  
「経済産業省認定グローバルニッチトップ企業100選」選定に関するお知らせ

このたび、当社は大阪市大正区の大阪工場内に、医療用超音波画像診断機に用いられる圧電単結晶材料の製造設備を下記のとおり新設することといたしましたので、その概要についてお知らせいたします。また、2020年6月末に当社圧電セラミックス材料を対象として、経済産業省が認定する「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されましたので、併せてお知らせいたします。

記

圧電単結晶材料製造設備の概要

- (1) 生産品目 圧電単結晶材料
- (2) 所在地 大阪市大正区船町1丁目3番47号 当社大阪工場内
- (3) 敷地面積 356m<sup>2</sup> (延床面積：1,036m<sup>2</sup>、3階建)
- (4) 建物構造 鉄骨+ALC構造
- (5) 設備投資額 約15億円
- (6) 着工開始 2020年7月末
- (7) 完成時期 2021年夏頃 完成予定

(8) 製造設備新設の経過と理由

当社は、医療用の超音波画像診断機が主要市場である圧電セラミックス材料において、世界シェアの約50%を占めております。そして今回このことが評価され、2020年6月30日に「経済産業省認定グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。

また、現在圧電材料市場では、高精度・高機能化ニーズへの対応が求められており、そのため、2018年1月には、高い性能を発現できる圧電単結晶材料の技術を持つ米国企業を傘下に収め、相互に得意とする技術の取り込み、製造技術レベルの高度化の取り組みを進めています。

これらの取り組みの一環として、このたび当社は大阪工場において、圧電セラミックス材料の製造設備に加え、圧電単結晶材料の量産を目的とした工場を新設することとしました。

今後も拡大する圧電材料市場の需要に対応し、お客様の要望にお応えする製品を提供するとともに、当該事業が当社グループの収益の柱となるべく、更なる拡大を図ってまいります。

(9) 当該事業の売上高の見通し

当社グループの長期経営ビジョン【MOVING-10】の最終年度である2030年度に100億円を目指します。

以上